

北海道中札内高等養護学校 校長室より

花と緑の村づくりの取組、続いています



鉄道公園、道の駅、役場前などの場所で、農業科の作った花の苗を活用して植栽が続いています。鉄道公園のじょうろを使っての水やりを保育園の園児が休みの日に親子で行っているという話をたくさん聞きます。

先日は、村で行われた寄せ植え講習会に来た幼児さん(鉄道公園で交流した子)が「マリーゴールド!」と自分の学んだ花の名前を叫んでいたとのこと。高校生と一緒に植えた花、ちゃんと覚えていたようです。うれしいですねー。

また、普通科でも植栽活動に取り組んでいます。フェーリエンドルフのレストラン前の通路沿いにきれいに植えられた花は、北海道パートナーズで用意してくださいました。村のあちこちで、生徒たちの思いが花開いています(♡▽♡)/



花と緑の村づくりはPTAでも取り組みます

「私たちもやりましょう!」とPTA 役員の皆さんから声をあげていただき、役員会の後、鉄道公園に行ってみなでじょうろをもって作業してくださいました。

写真を見て、植栽の頃より倍以上に成長した花に驚いています!



PTA 役員会の後、皆さんで鉄道公園に行ってお水やりをしていただきました



28日(金)に行われる「道の駅販売会」について、中札内村のSNSでもご紹介いただきました。本当にありがとうございます。

村の方々が応援してくださっていることを生徒たちも肌で感じながら活動できます。当日はわずか1時間という時間ではありますが、多くのお客様と接する中で、多くを学んできてくれると思っています。どうぞよろしく願いいたします。

